

第1回 大谷・小鹿地区まちづくり検討会議

大谷・小鹿地区の地区特性について

1. まちの変遷

2. 現在の土地利用

3. 人口

4. 交通

5. 産業

6. 防災

7. 防犯

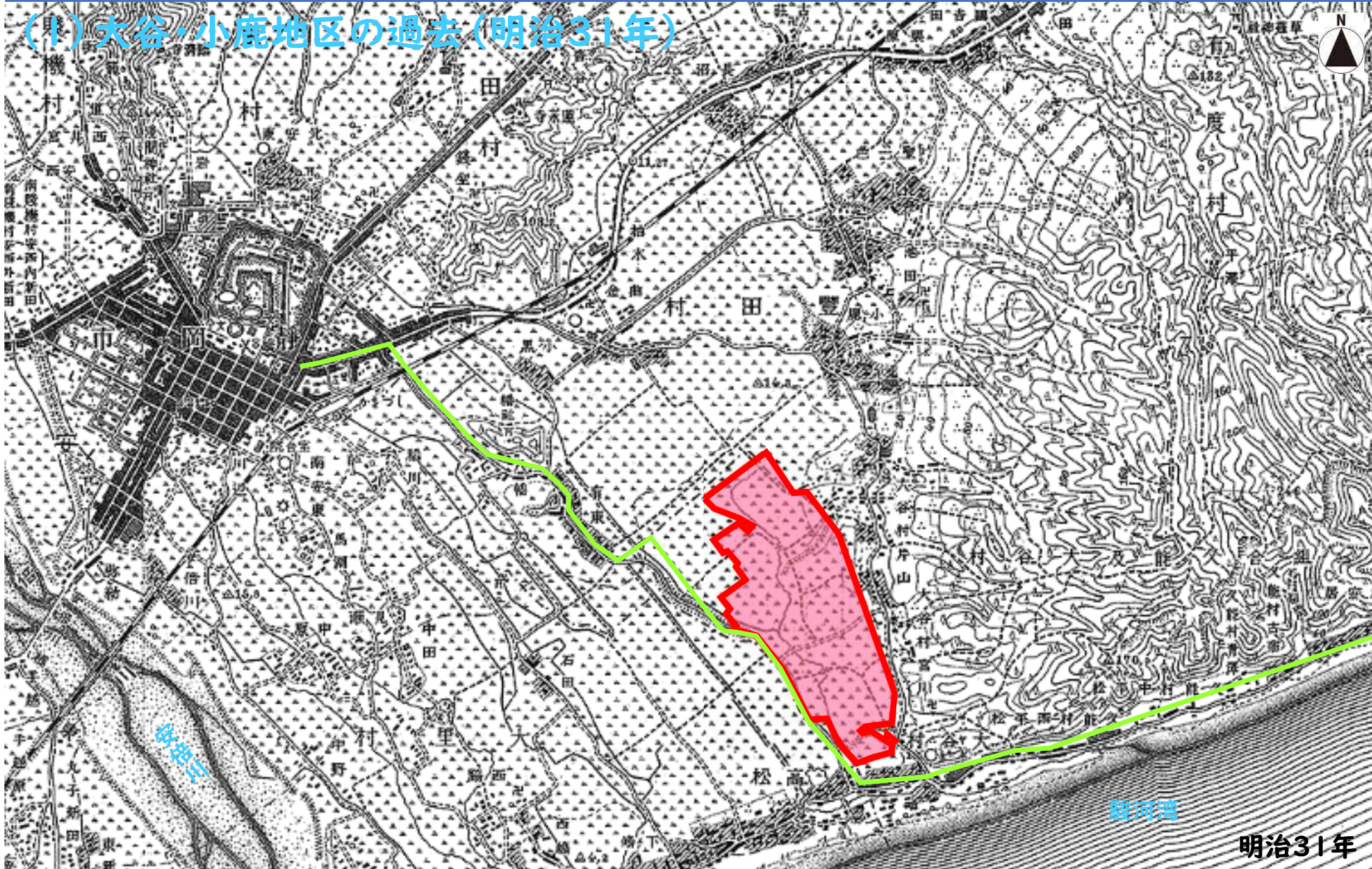
8. 経済・観光

9. 自然環境

10. エネルギー

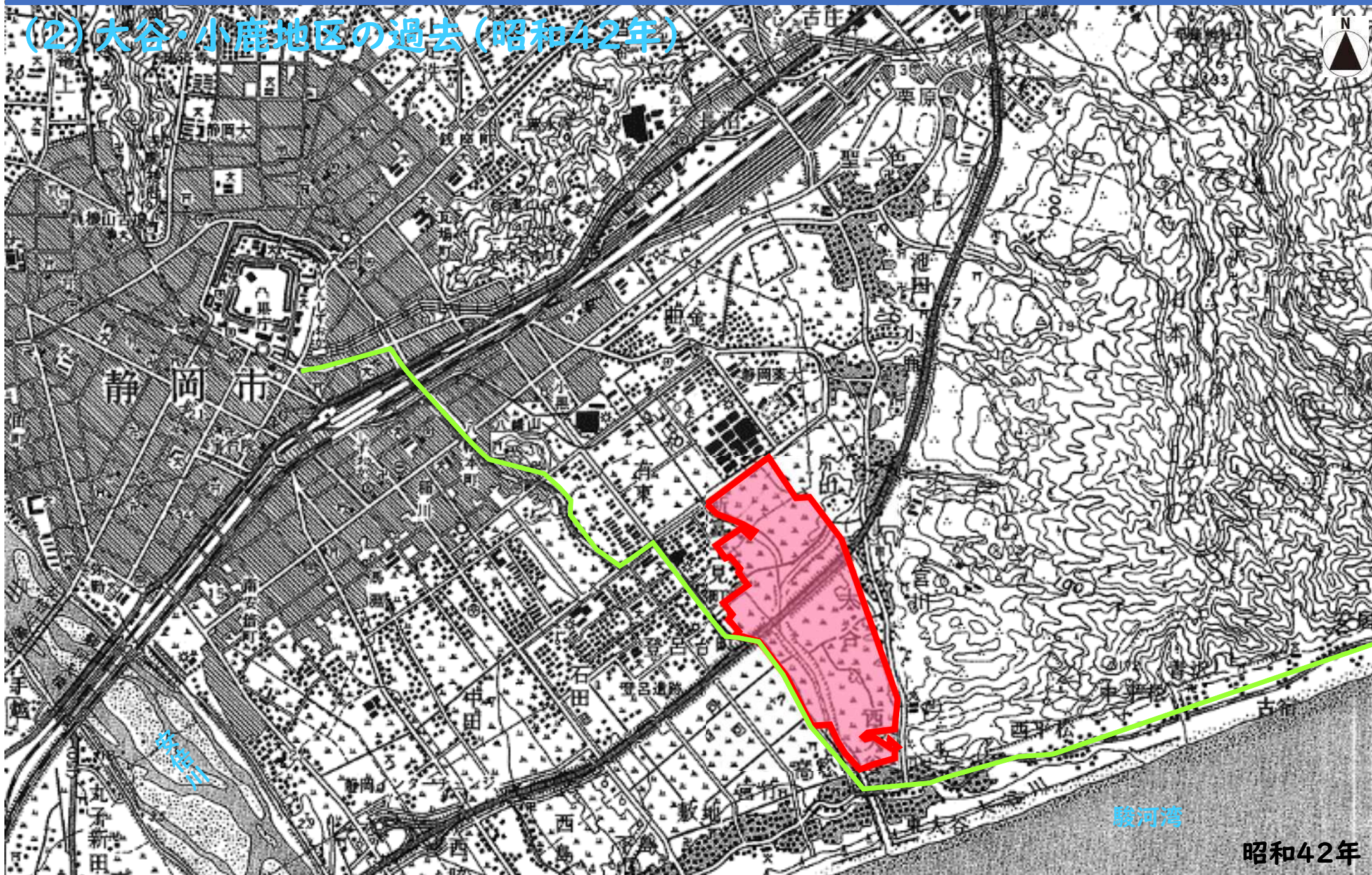
1. まちの変遷

(1) 大谷・小鹿地区の過去(明治31年)



1. まちの変遷

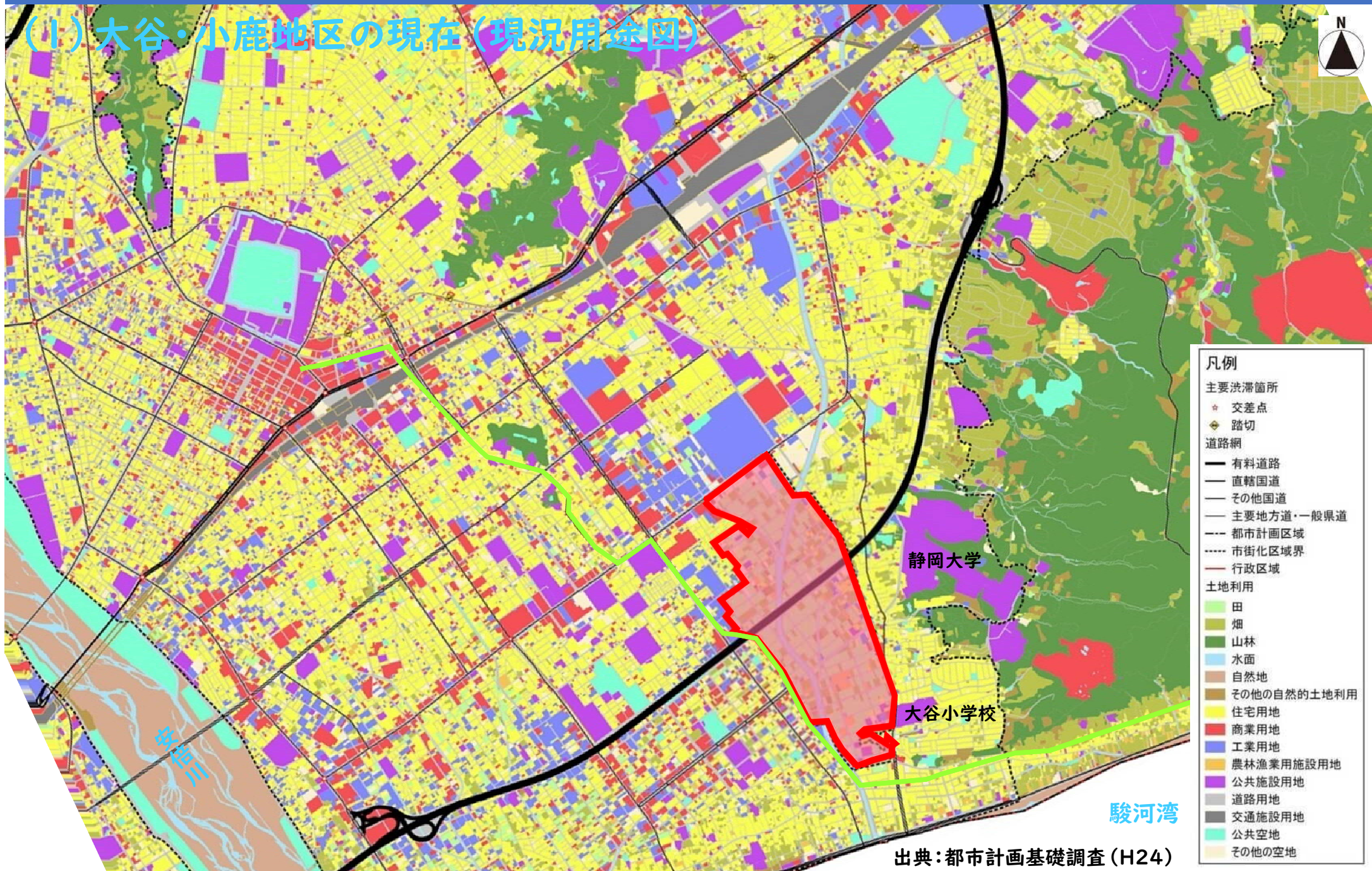
(2) 大谷・小鹿地区の過去（昭和42年）



昭和42年

2. 現在の土地利用

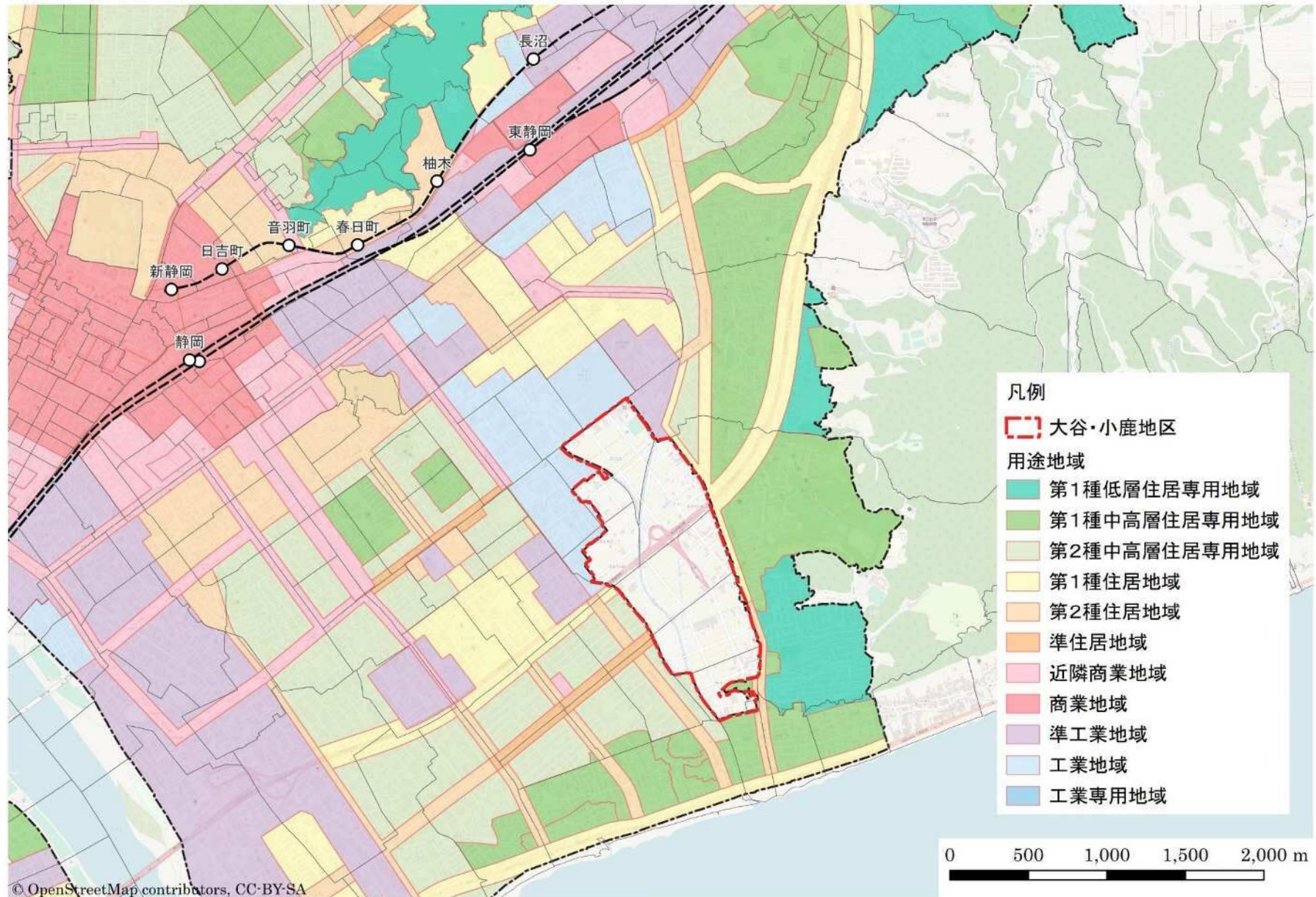
(1) 大谷・小鹿地区の現在(現況用途図)



出典：都市計画基礎調査(H24)

2. 現在の土地利用

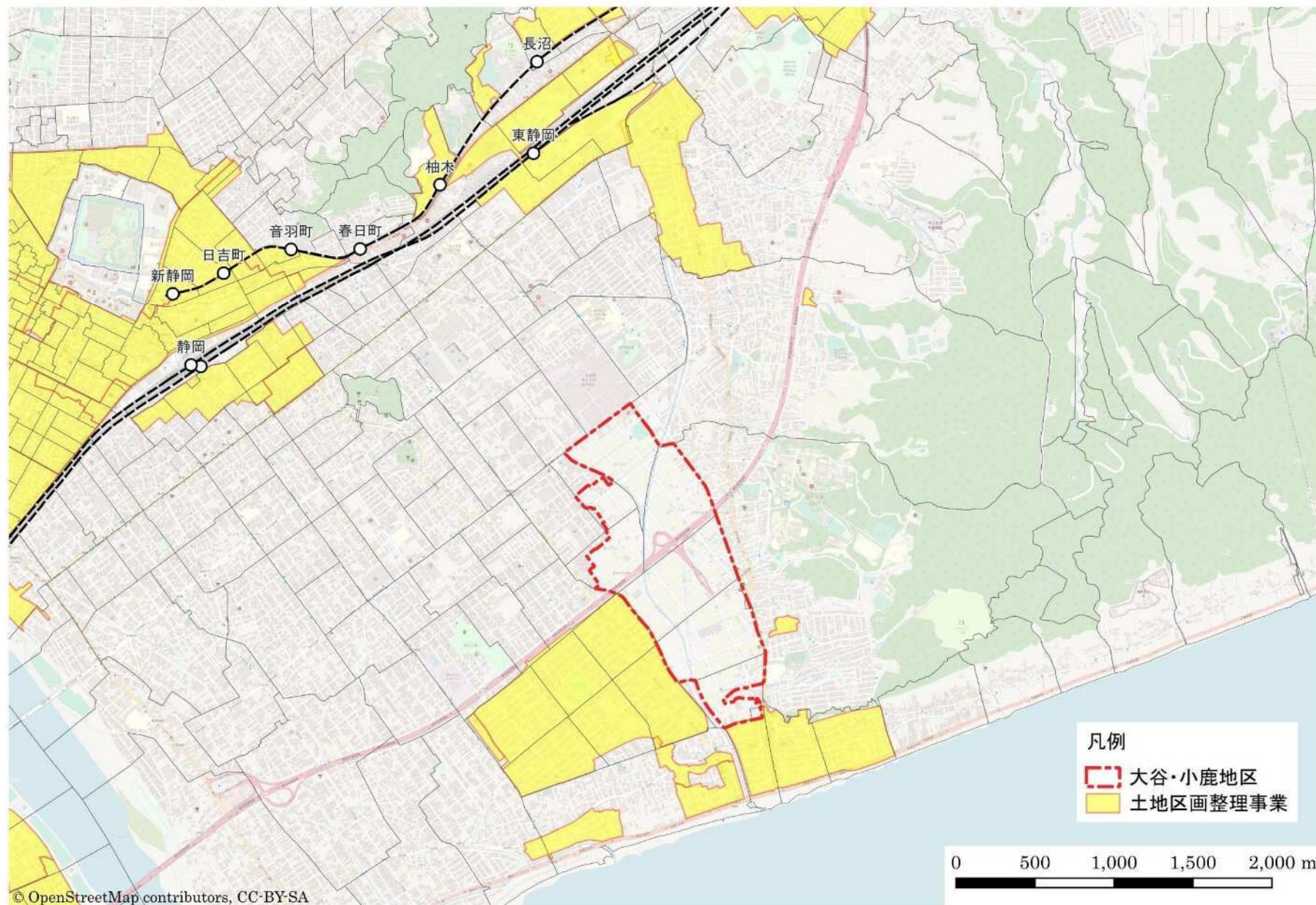
(2) 大谷・小鹿地区の現在（用途地域）



出典：都市計画基礎調査（平成27年）

2. 現在の土地利用

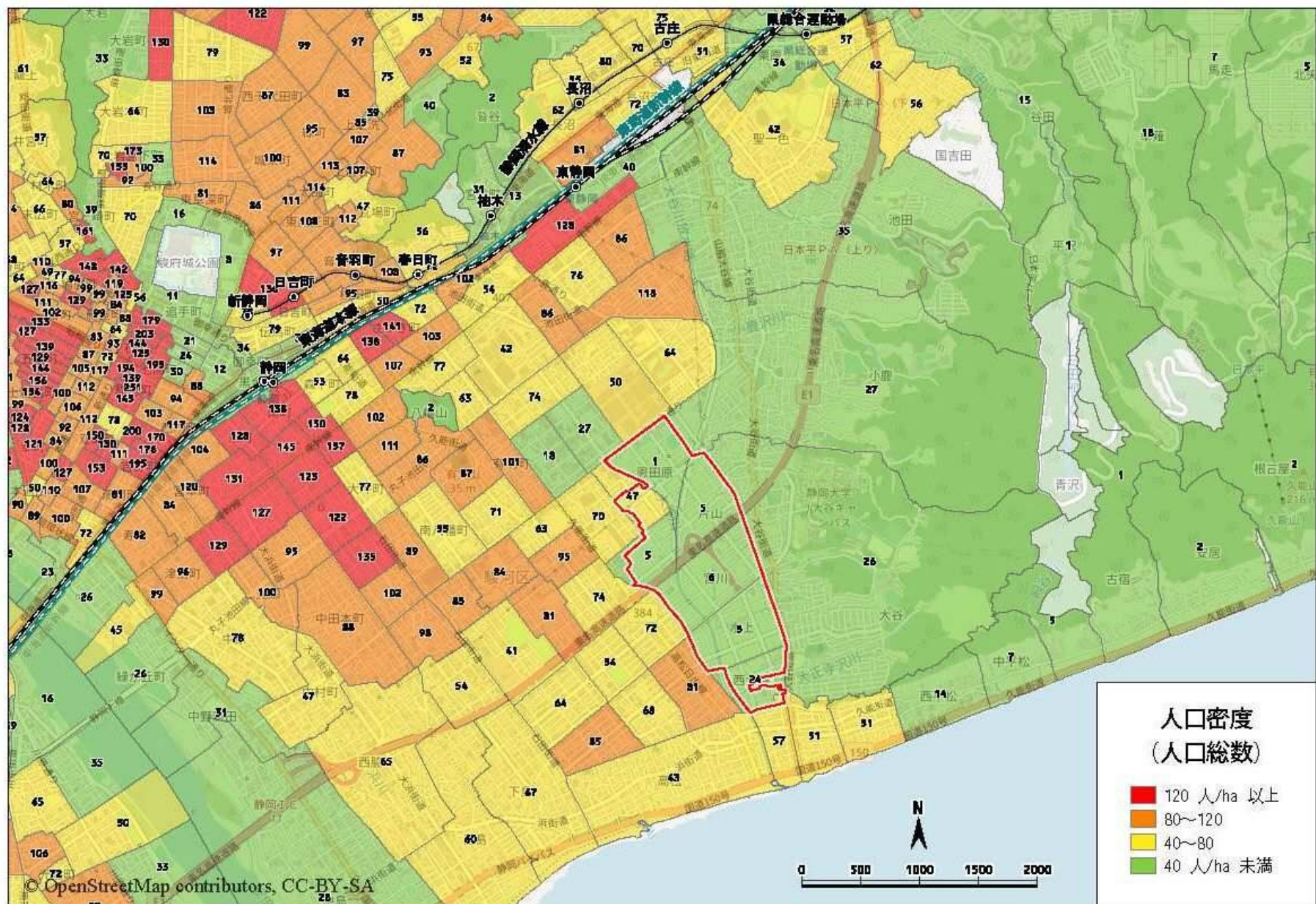
(3) 大谷・小鹿地区の現在（土地区画整理事業完了箇所）



出典：都市計画基礎調査（平成27年）

3.人口

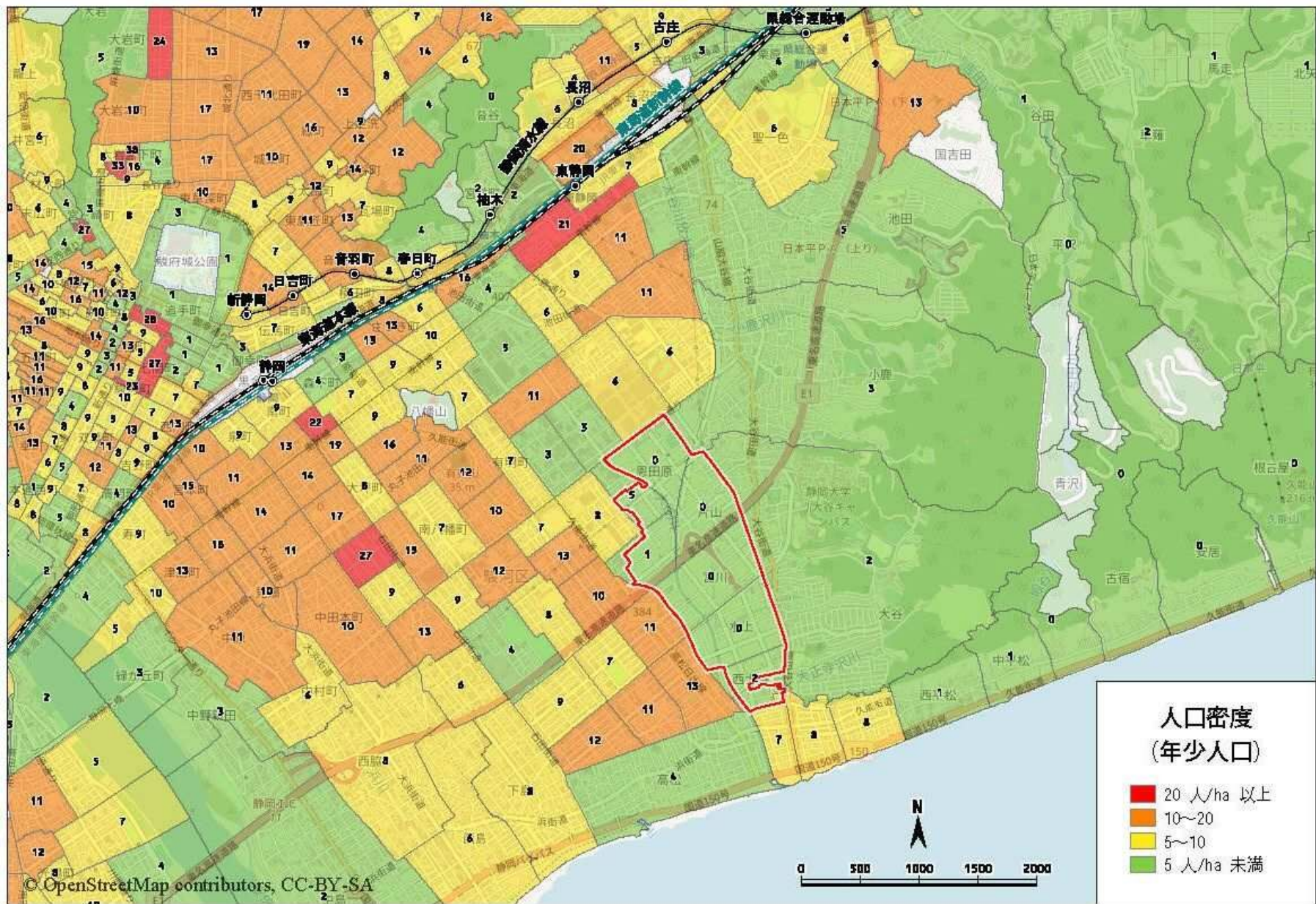
(1)人口密度分布(人口総数 2020年)



出典:国勢調査(令和2年)

3. 人口

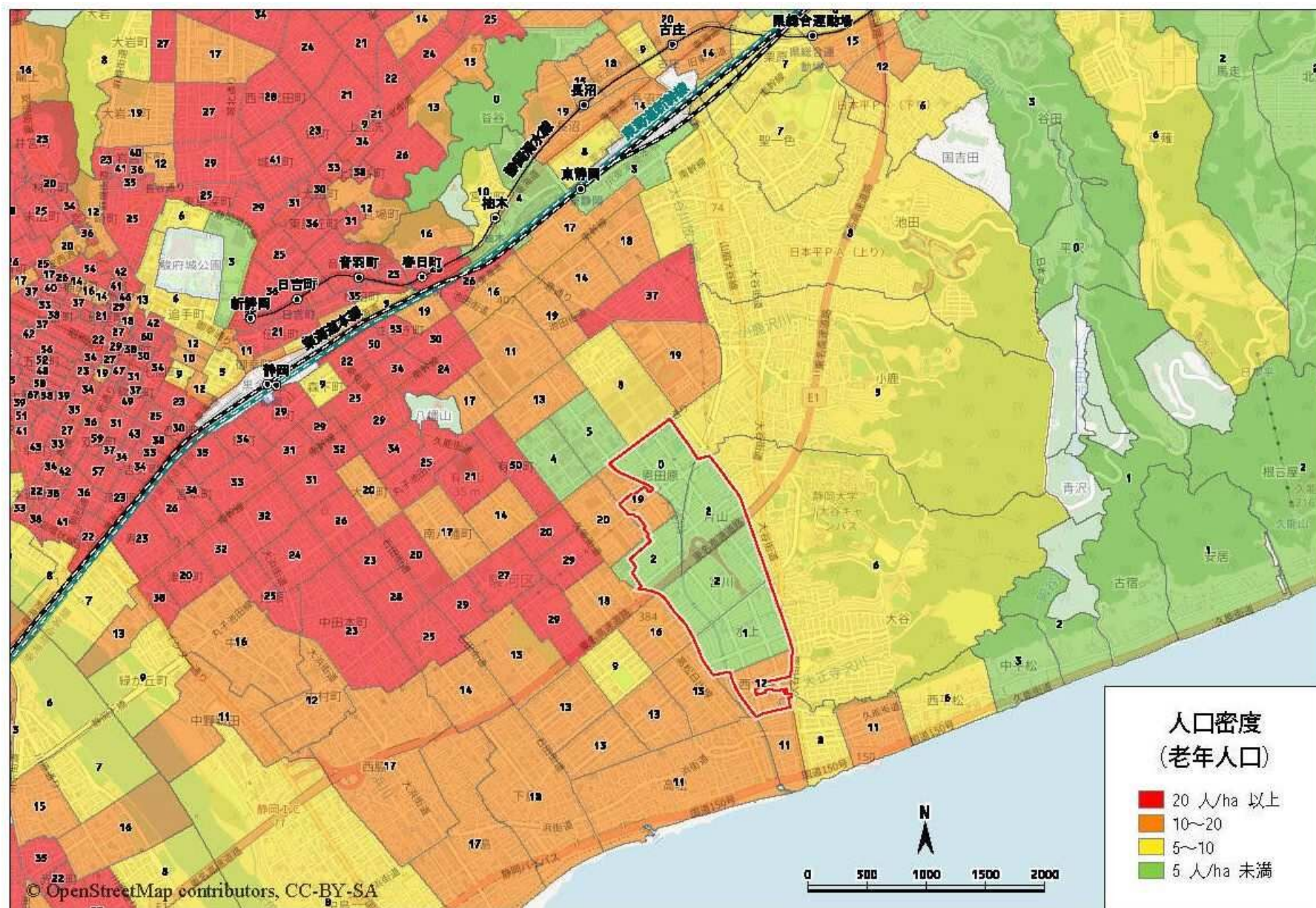
(2) 人口密度分布 (15歳未満 2020年)



出典：国勢調査 (令和2年)

3. 人口

(3) 人口密度分布 (65歳未満 2020年)



出典: 国勢調査 (令和2年)

3. 人口

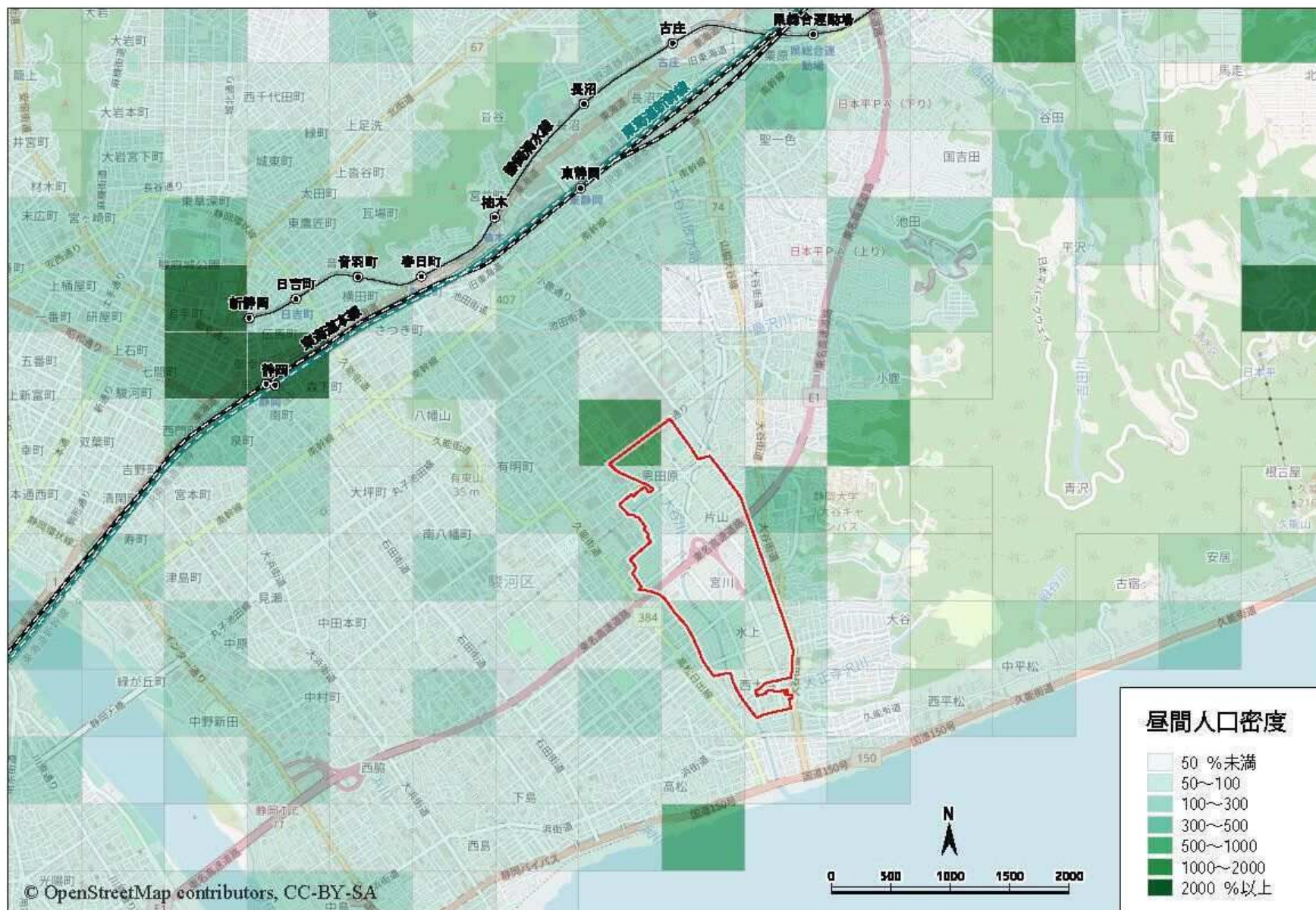
(4) 人口密度分布 (2000年と2020年の比較)



出典: 国勢調査 (平成12年、令和2年)

3. 人口

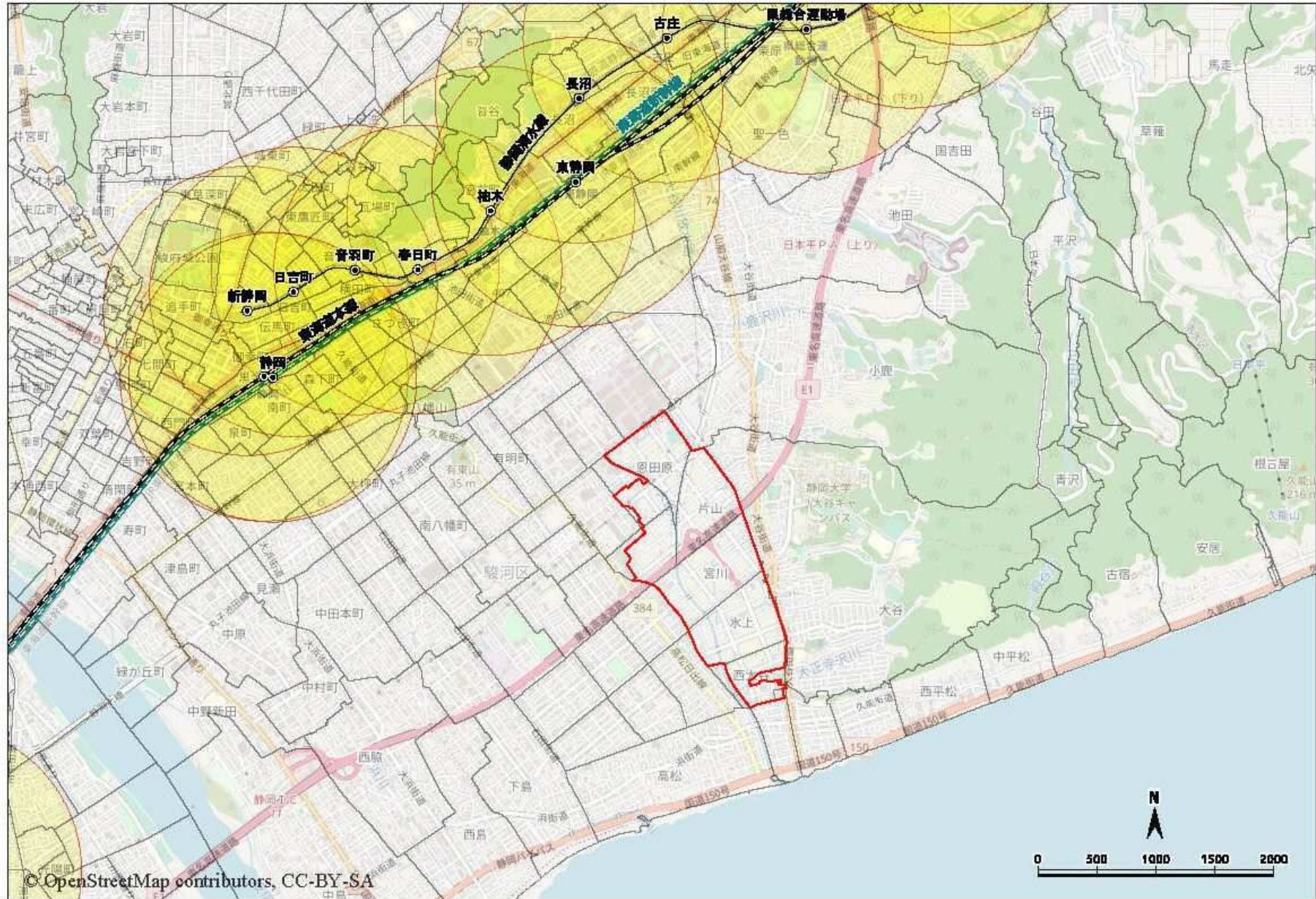
(5) 昼夜間人口比率 (昼間人口/夜間人口)



出典:平成 27年国勢調査、平成 26 年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計(統計情報研究開発センター)

4. 交通

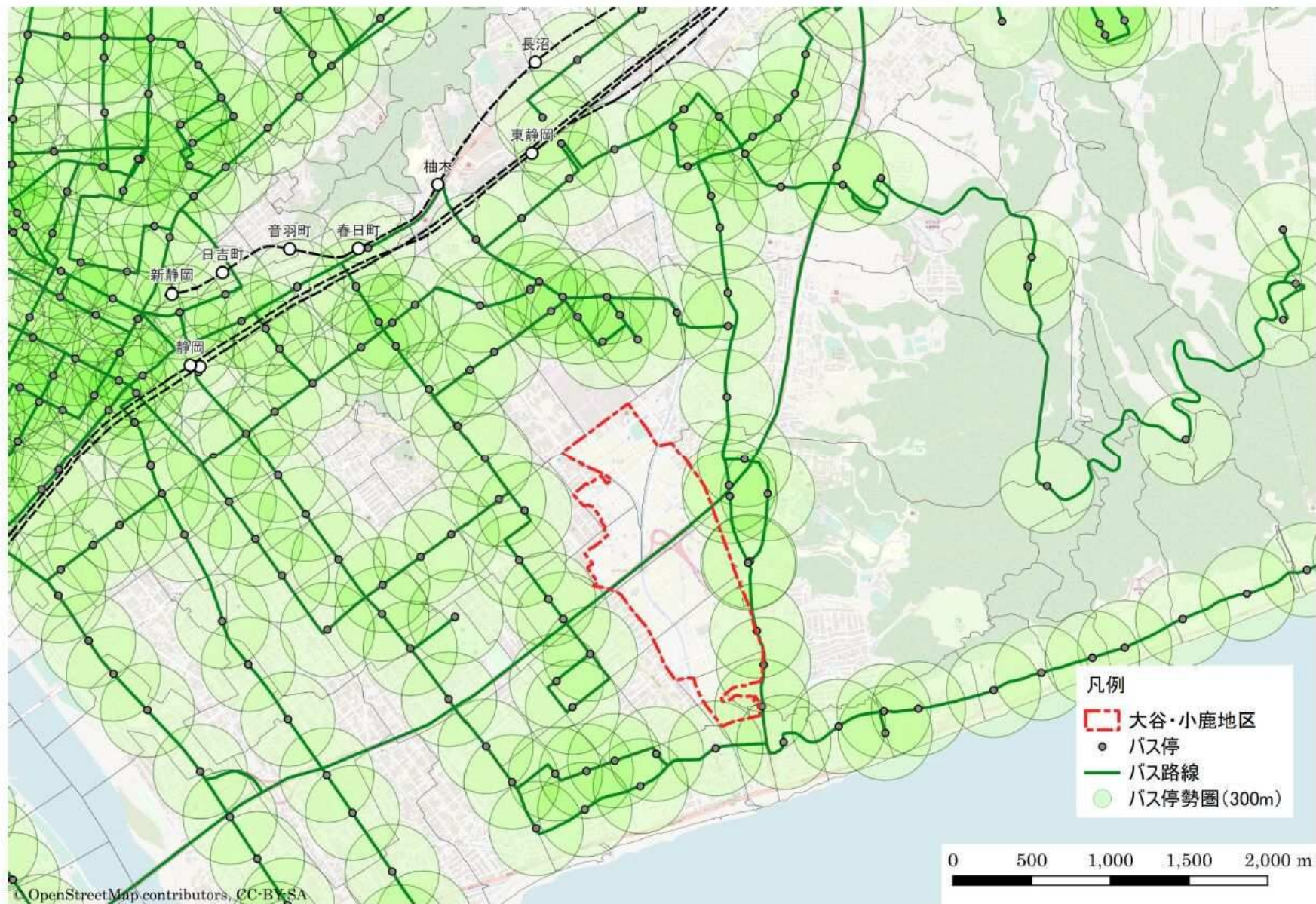
(1) 鉄道駅勢圏 (鉄道駅から半径1kmの範囲)



出典: 国土数値情報における鉄道データを基に作成

4. 交通

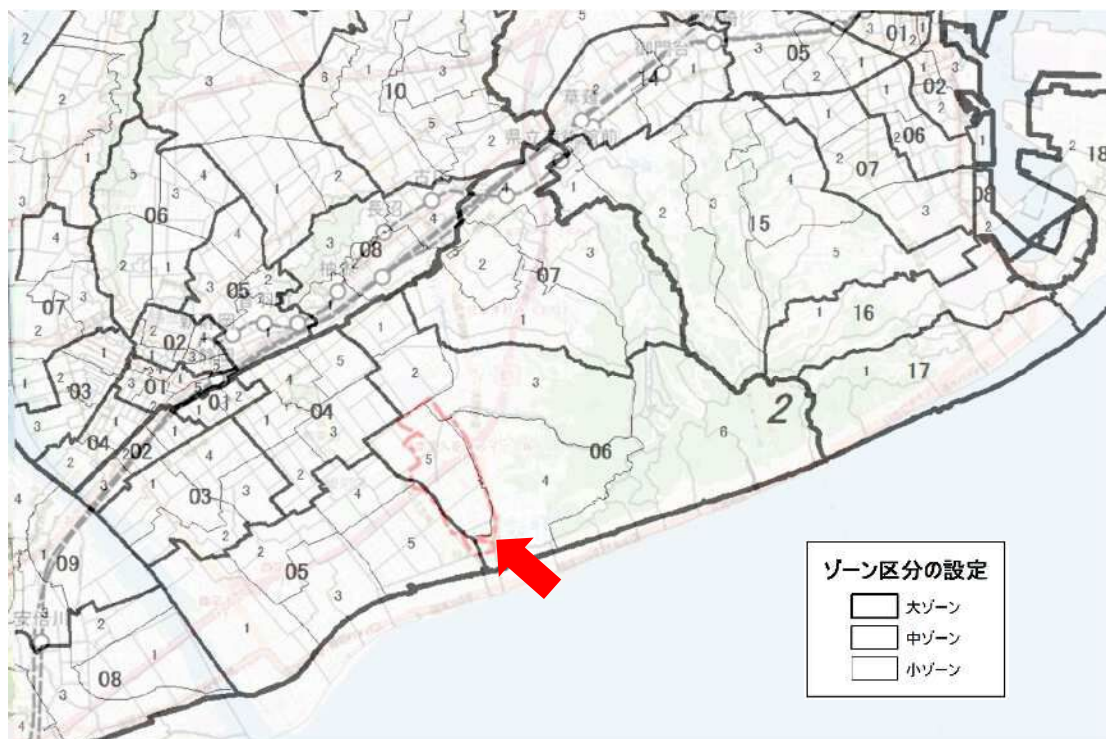
(2) バス停勢圏 (バス停から300mの範囲)



出典: 第4回静岡中部都市圏パーソントリップ調査 (平成24-26年) におけるバス停データを基に作成

4. 交通

(3) 各交通手段の分担率(利用割合)2012年



- 大谷・小鹿地区周辺の交通手段の利用割合をみると、静岡中部都市圏全体（静岡市、藤枝市、焼津市、島田市）の傾向と比較すると、**自転車と自動二輪の利用割合が高い**傾向にある。
- 他方で、**鉄道や徒歩の割合は低い**傾向にある。

交通手段分担率

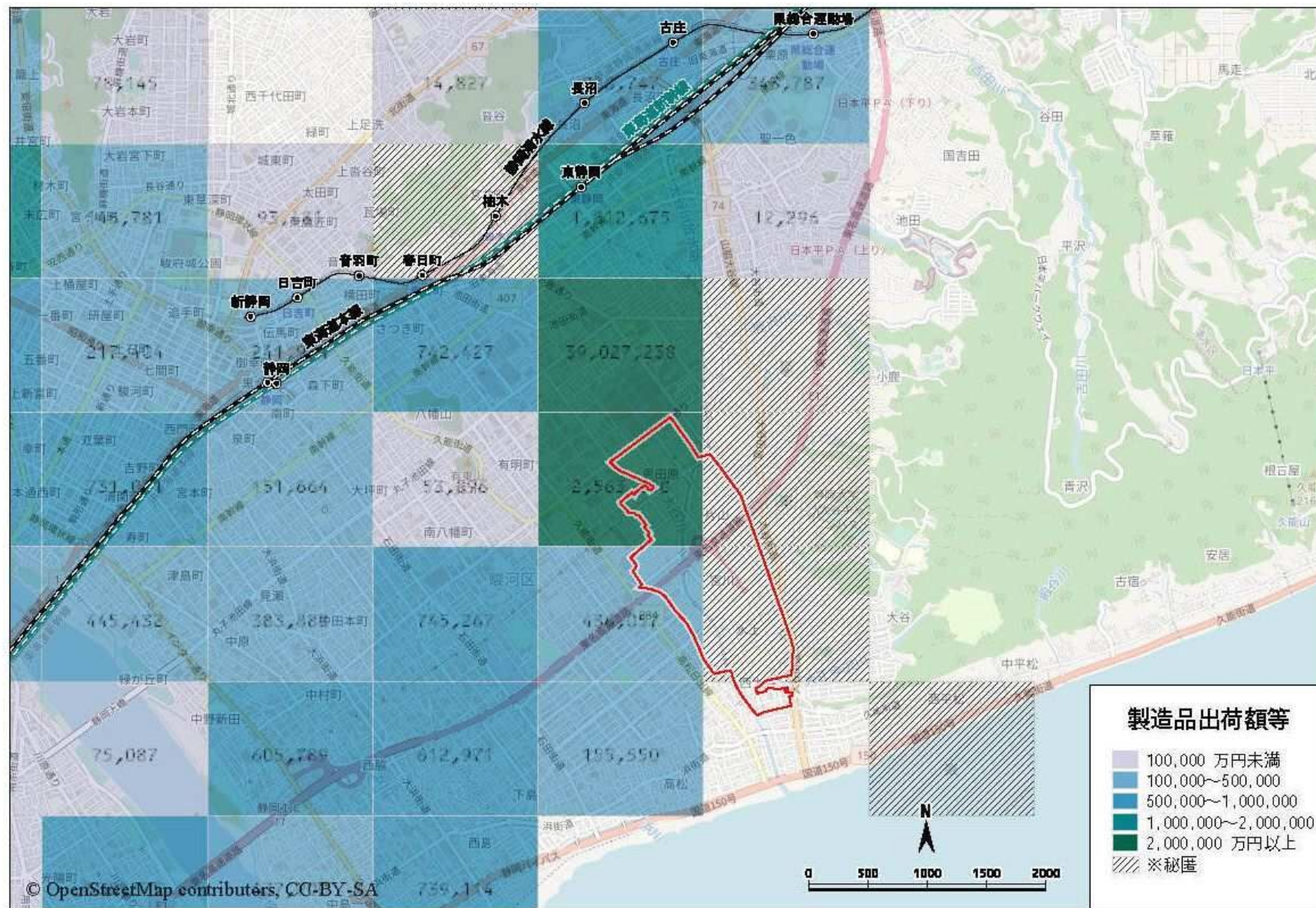
小ゾーン	代表地名	徒歩	自転車	自動二輪	自動車類	バス	鉄道	不明	総数
2065	西大谷・富士見台	12.1%	20.1%	5.0%	56.2%	3.0%	2.8%	0.8%	100.0%

	徒歩	自転車	自動二輪	自動車類	バス	鉄道	不明	総数
全ゾーン	17%	15%	3%	56%	2%	6%	2%	100%

出典：第4回静岡中部都市圏パーソントリップ調査（平成24-26年）

5. 産業

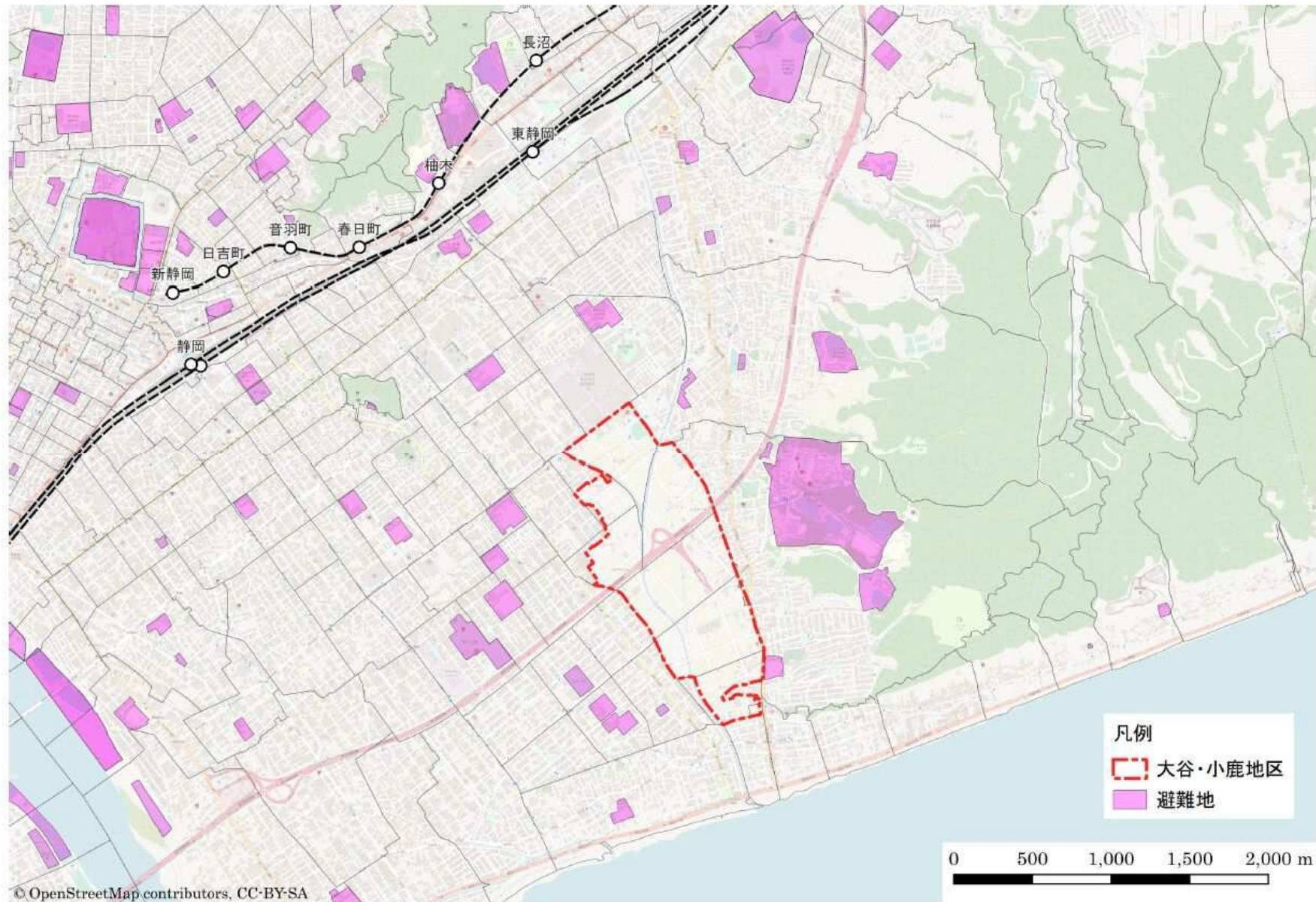
(1) 製造品出荷額の分布



出典：工業統計（平成22年）

6. 防災

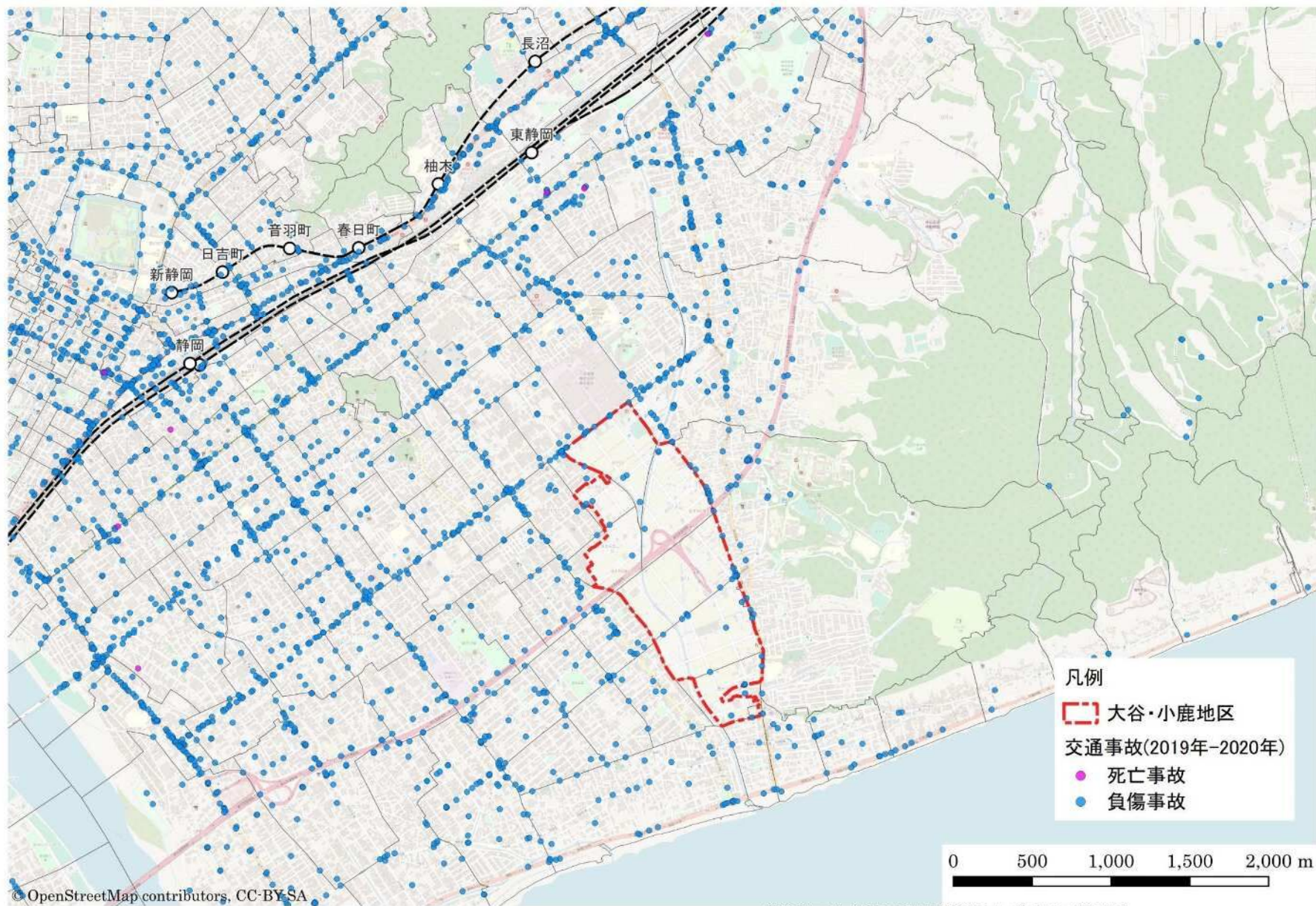
(1) 避難地



出典：都市計画基礎調査（平成27年）

7. 防犯

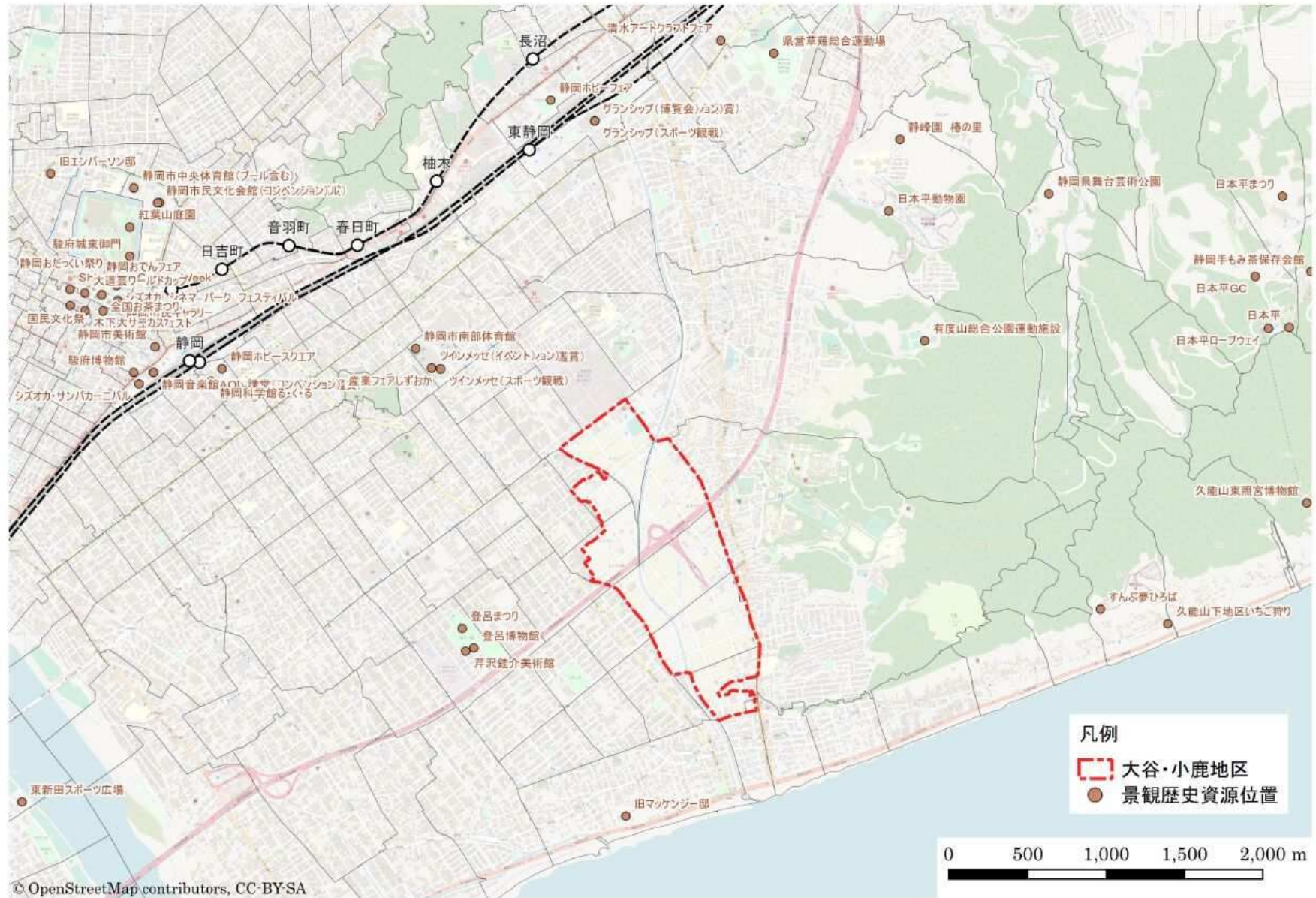
(1) 事故件数



警察庁ウェブサイト「交通事故統計情報のオープンデータ」を基に作成
(https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/opendata/index_opendata.html)

8. 観光

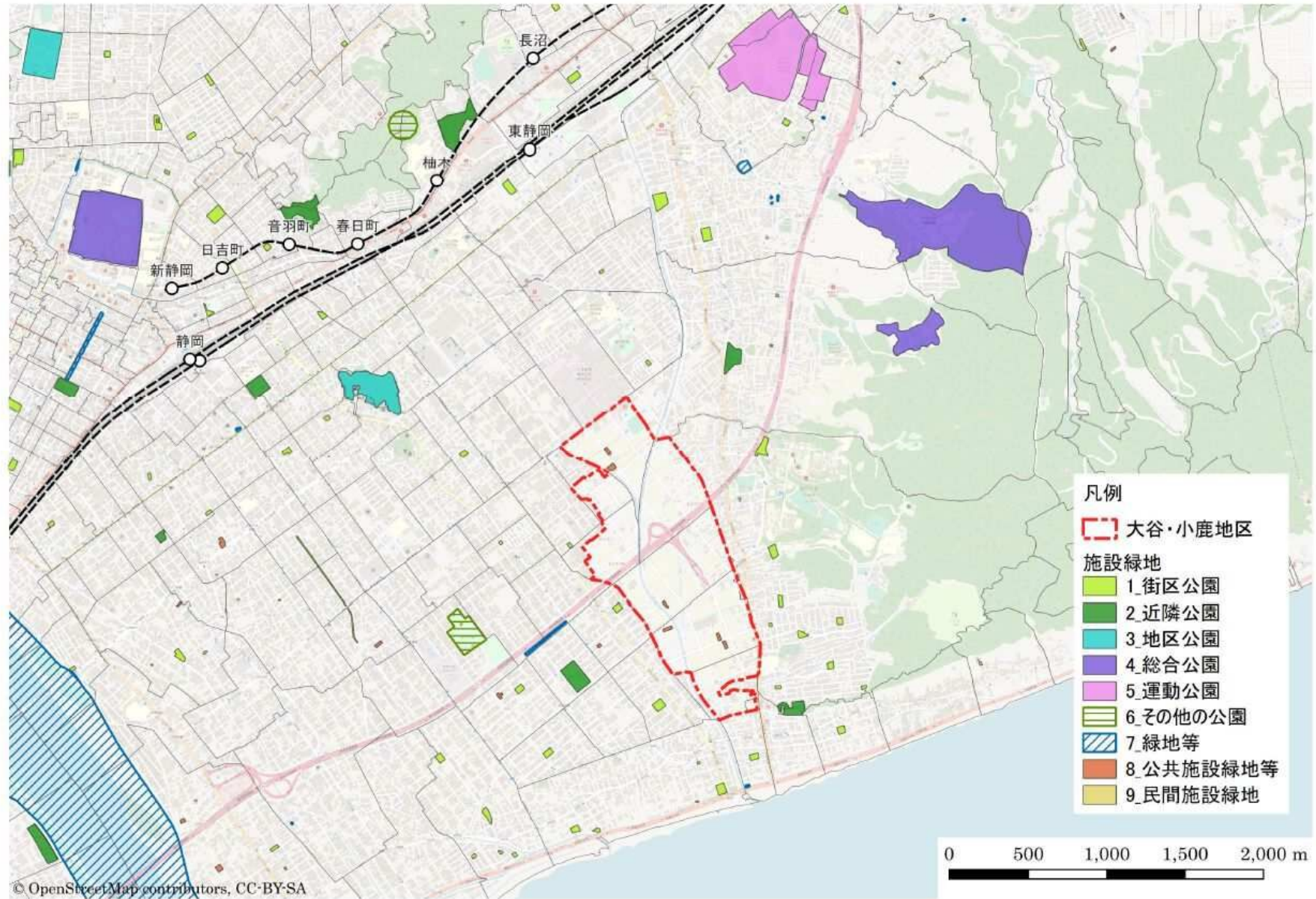
(1) 景観資源位置



出典：都市計画基礎調査（平成27年）

9. 自然環境

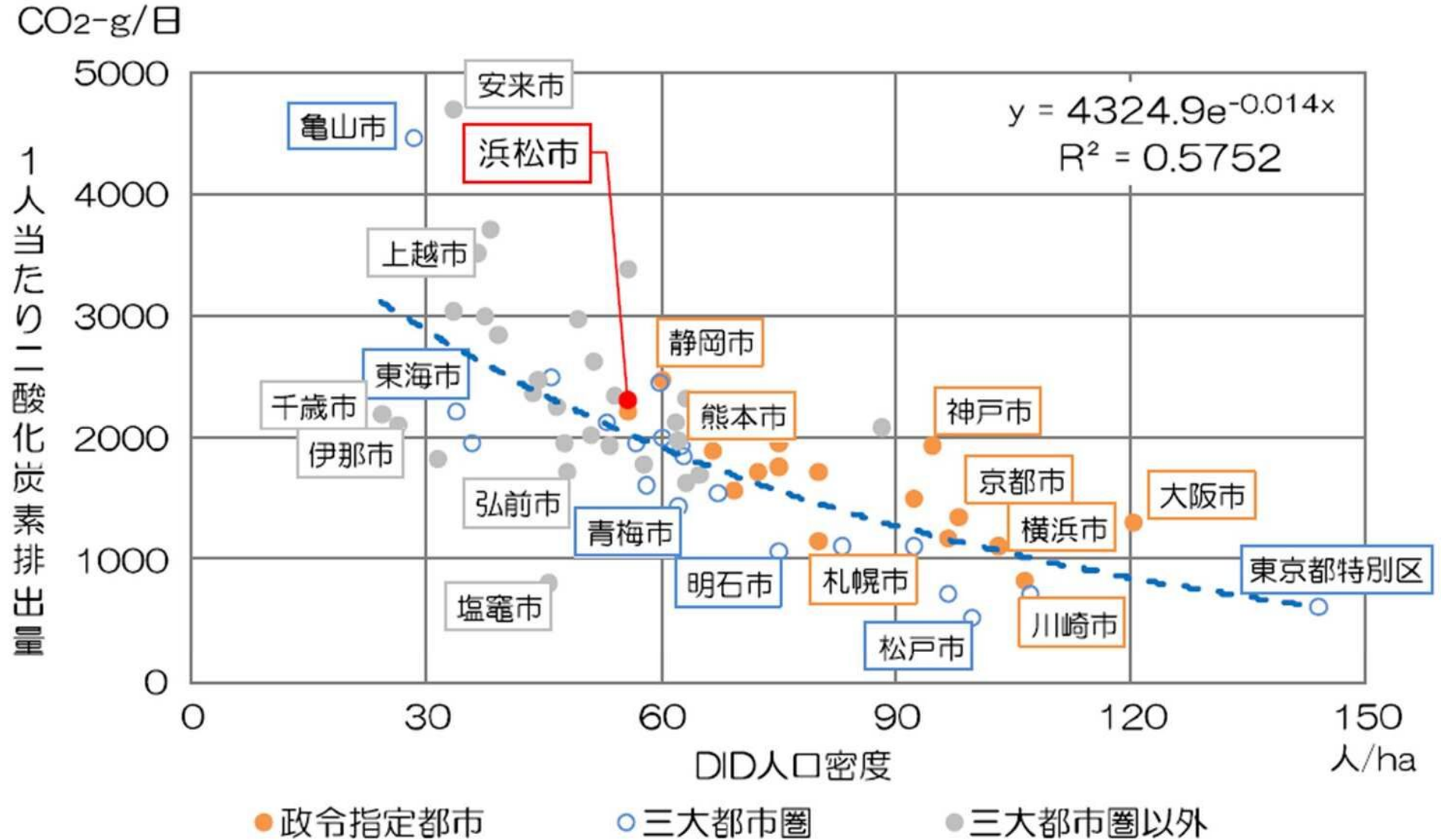
(1) 施設緑地(公園等)



出典:都市計画基礎調査(平成28年)

10. エネルギー

(1) 1人当たりの二酸化炭素排出量



出典:浜松市都市計画マスタープラン(令和3年)